

韓国日本語学会 ニュースレター [2019-01]



発行人：李吉鎔 / 編集人：朴江訓・孫榮爽・中村有里 / 発行所：韓国日本語学会 / 発行日：2019. 1. 4.

主席副学会長挨拶	1
会員近況	2
その他学会ニュース	3
学術大会結果報告	5
協力研究会開催	6
編集委員会	7
『日本語学研究』論文投稿案内	8
学会ホームページ案内	13

중앙대학교 아시아문화학부 이길용 교수 연구실
〒06974 서울시 동작구 흑석로 84
中央大学校 アジア文化学部 李吉鎔教授研究室
〒06974 Seoul市 銅雀区 黒石路 84
H.P : 010・8917・9469 (事務局長:全紫蓮)

E-mail : jlak123@hanmail.net

Homepage : <http://www.jlak.or.kr>

主席副学会長挨拶

韓国日本語学会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

2019年、己亥年が明けました。

新たな希望を象徴する「金豚(猪)年」にあやかり、燦爛と輝く一年となればと思います。



昨年は、第10代執行部が「共に歩こう」というスローガンのもと一致団結し、名実ともに「日本語学」専門学会としての位置づけを確立すべく、力を尽くしてまいりました。その結果、2018年度韓国研究財団学術誌継続評価にて、本学会の学術雑誌『日本語学研究』が極めて優秀な成績で「登載学術誌維持」との判定を受け、また、こうした努力が、2018年8月に韓国研究財団より発表されましたKCI影響力指数「日本語と文学」分野2位という結果につながるなど、誠に慶ばしい出来事に恵まれました。良いことを考えると良いことが起こると言われますが、己亥年である新年も幸多からんことを願います。

新年最初の良いお知らせといたしましては、本学会の『日本語学研究』第59集を特集号とし、第2回目の展望論文を2019年3月に発刊する予定となっております。本学会では、韓国の日本語学研究の動向を国内外に発信するという趣旨で、2年に1度、韓国の日本語学研究の最新の現状と展望をまとめた論文を発刊しております。今回は、各分野別に著名な6名の先生方が執筆をご快諾くださり、誠に有り難く存じます。

雲の後ろにはつねに光があると申します。本学会は、本学会ならではの特色と価値を持っております。会員の皆様お一人お一人の信念と情熱をお寄せいただきますことで、本学会の未来はより一層明るいものになること確信しております。今後とも、会員の皆様の変わらぬご関心とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。第39回春季学術大会が2019年3月23日(土)明知専門大学にて開催される予定です。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

会員の皆様ならびにご家族の皆様にとりまして、幸多き一年となりますよう、お祈り申し上げます。

새해(新年) 복(福) 많이 받으세요.

2019年 己亥年 元旦
韓国日本語学会 第10代主席副会長 高慧禎

会員近況

○ 勤務先変更

・許明子 会員

筑波大学より名古屋大学国際機構国際言語センター(人文学研究科応用日本語学分野)教授に任用
(2018. 10-)

○ 学位取得

・斎藤敬太 会員

学位取得：首都大学東京大学院 日本語教育学博士取得(2018. 3)

題目：東北地方の外国人住民の日常生活における方言理解問題の解決を目指した社会言語学的研究

就職：津田塾大学非常勤講師(2018. 4-)

・尹京愛 会員

学位取得：啓明大学校大学院 文学博士取得(2018. 2)

題目：『レ・ミゼラブル』の近代韓国語翻訳研究-日本語起点テキストとの比較を中心に

就職：嶺南大学校日語日文学科 博士後国内研修研究員(2018. 7-2020. 6)

○ 事務局

〒06974 서울시 동작구 흑석로 84

중앙대학교 아시아문화학부 이길용 교수 연구실

〒06974 Seoul市 銅雀区 黒石路 84

中央大学校 アジア文化学部 李吉鎔教授研究室

E-mail : jlak123@hanmail.net Homepage : <http://www.jlak.or.kr>

● 審査料及び掲載料の納付先

国民銀行(kookmin Bank) 884201-04-150294 이길용(한국일본어학회) 李吉鎔(韓国日本語学会)

・韓国日本語学会では海外団体会員(台湾日本語学会、日本国立国語研究所、国際交流基金日本語国際センター)に定期的に学術誌を発送しています。個人会員の場合は学会運営の関係上、郵送料をいただいております。学会誌の発送をご希望の方は事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。学会誌に記載された論文は創刊号から最新号まで学会ホームページの学会誌(http://jlak.or.kr/modules/doc/index.php?doc=search&_M_ID=27)よりダウンロードできますのでご利用ください。

その他学会ニュース

1. 2018年度韓国研究財団学術誌評価にて「登載学術誌維持」判定

この度、2018年度韓国研究財団学術誌継続評価にて、本学会の学術誌『日本語学研究』が極めて優秀な成績で「登載学術誌維持」との判定を受けました。これまで本学会は、日本語学分野のみに特化した学術誌としての位置づけを確立すべく、その構成と体制の一貫性を維持し、学術誌の質的水準向上のためにたゆまぬ努力を続けてまいりました。こうした努力の成果として、2018年8月、韓国研究財団より発表されましたKCI影響力指数「日本語と文学」分野におきまして、2位になることができました。会員の皆様のご関心とご声援に、深く感謝申し上げます。

2. 第7回韓国大学生日本語ディベート大会後援

本学会は、日本語学研究成果の活用と社会的寄与という観点から、<韓国大学生日本語ディベート大会>を2016年第5回大会から公式的に後援してきました。この度、2018年第7回ソウル大会(明知大学校)、釜山大会(釜山外国語大学校)、全国大会(釜山外国語大学校)の各優勝チームに、韓国日本語学会会長賞を授与しました。2018年9月29日ソウル大会の授賞のため、高慧禎主席副会長が列席しました。



3. 姉妹学会学術大会

台湾日本語学会国際学術大会が、2018年12月15日、輔仁大学校にて「日本研究の課題と展望—文学・言語・社会」という主題で開催されました。盧鈺鉉学術副会長が代表として列席しました。その他にも、一般発表者として梁乃允事務局長が参加しました。2019年度台湾日本語学会は12月に開催される予定ですので、ご発表を希望される方は事務局までお問い合わせください。



4. 第2号展望論文発刊予定

本学会の学術誌『日本語学研究』を国内外に発信するという趣旨で、2017年3月から特別企画展望論文を、2年に1度ずつ、「韓国の日本語学研究的現状と展望」という主題で発刊しています。2019年3月20日発行予定の『日本語学研究』第59集では、日本語学の各分野別に著名な6名の先生方がご寄稿くださり、展望論文として発刊する予定です。

5. 2018年3月 春季学術大会発表者募集

2019年3月23日(土)、明知専門大学にて、春季学術大会を開催する予定です。ご発表を希望される方は、jlakstudy@naver.com(学術理事)まで、お問い合わせ・お申し込みくださいますよう、お願いいたします。発表申し込みの締め切りは、2019年2月1日(金)となっております。

6. 学術誌『日本語学研究』審査規定改定のご案内

本学会では、オンライン論文審査システムJAMSの審査規定に合わせ、効率的な運営のため、本学会学術誌『日本語学研究』の論文審査結果処理基準を、第60輯(2019年6月20日発行)より、現在の4段階(掲載可能、修正後掲載可能、修正後次号投稿可能、掲載不可)から3段階(掲載可能、修正後掲載可能、掲載不可)に変更・適用します。

学術大会結果報告

【 第38回国際学術大会結果報告 】

- 日時：2018年9月15日(土)
- 場所：中央大学校
- 「研究者倫理と言語研究」という主題で琉球大学の名嶋義直先生の招聘講演があり、多くの会員の皆様にご参加いただきまして、成功裡に終了しました。
- 中央大学校のご協力に感謝申し上げます。



韓國日本語學會 第38回 國際學術發表大會論文集

Proceedings of the 38th General Meeting of the JLAK

September 15, 2018

연구자윤리와 언어연구
研究者倫理と言語研究

2018年 9月 15日(土)
中央大學校

主催：韓國日本語學會
主管：韓國日本語學會・中央大學校 日本研究所・中央大學校 ASIA文化學部 日本語文學專攻
後援：中央大學校・韓國研究財團・JAPAN FOUNDATION SEOUL
時事日本語社・日本語檢定協會J.TEST韓國事務局・East Ambition社

韓國日本語學會

The Japanese Language Association of Korea

協力研究会開催のご案内

韓国日本語研究会

<韓国日本語研究会第12回研究会のご案内>

- 日時・場所：2019年1月31日(木)14:00~18:00、漢陽サイバー大学校(発表会場は追って案内)
- 発表内容：
 - ① 新進研究者博士学位論文発表：尹京愛先生(嶺南大)
<『レ・ミゼラブル』の近代韓国語翻訳研究—日本語起点テキストとの比較を中心に—(2018.2.啓明大学校) >
 - ② 中堅研究者特別発表：洪珉杓先生(啓明大)
<韓国の日本語学の研究動向と課題>
- 関連案内：研究会カフェ(<http://cafe.daum.net/-KJS->)参照(今後、詳しい情報・発表要旨など掲載予定)

韓国OPI研究会

<ACTFL-OPI試験管養成ワークショップ(韓国OPI研究会主催)>

- 日時：2019年8月21日(水)~8月24日(土) <4日間>
- 場所：韓国ソウル市(予定)
- 対象：韓国在住の方(日本語ネイティブの方・日本語ノンネイティブの方)
- 費用：約110万ウォン(練習ラウンド・本番ラウンドの音声審査料を除く)
- 講師：嶋田和子トレーナー(一般社団法人 アクラス日本語教育研究所 代表理事)
- 募集時期：次回2019年度 第1回定例会にてご説明いたします。
定例会の詳細につきましては、研究会のホームページでご案内いたします。
また、ワークショップ受講の受付は、本研究会会員を優先的にさせていただきます。
- 研究会ホームページ：http://opik.da-te.jp/
- お問い合わせ：韓国OPI研究会 迫田亜希子 as982095@gmail.com

韓国OPI研究会 2019年度 第1回定例会(予定)

日時：2019年3月初旬 10:00-13:00

場所：韓国ソウル市「ハナ多文化センター多隣(タリン)」

内容：・テープ判定(日本語学習者のインタビュー音声聞き、レベル判定およびディスカッションを行います。)

・OPIインタビューのインタビュー方法に関するディスカッション

編集委員会

【58集編集委員会】

- ・ 第1次編集委員会 (2018. 10. 12. 時事日本語学院本館306号室)
 - 1) 第58集投稿論文確認及び報告(17編)
 - 2) 第58集投稿論文審査委員選定
 - 3) 第58集審査日程論議
 - 4) 第58集投稿論文審査依頼
 - 5) その他案件
- ・ 第2次編集委員会 (2018. 11. 3. サイバー編集委員会)
 - 1) 第58集審査進行確認及び論議
- ・ 第3次編集委員会 (2018. 11. 14. 時事日本語学院本館306号室)
 - 1) 第58集投稿論文審査結果報告及び確認
 - 2) 第58集投稿論文審査の結果、11編の掲載を決定
 - 3) 第58集審査結果通知及び投稿者修正依頼
 - 4) 第58集投稿論文審査依頼編集委員会関連常任理事会案件確認及び論議：論文審査段階修正案
 - 5) その他案件
- ・ 第4次編集委員会 (2018. 11. 23. サイバー編集委員会)
 - 1) 第58集投稿者修正内容確認
 - 2) 英文要旨監修依頼、チェックサラン編集依頼
- ・ 第5次編集委員会 (2018. 12. 5. 図書出版チェックサラン)
 - 1) 第58集1次刊行作業経過確認
 - 2) 第58集1次刊行作業及び校正作業
- ・ 第6次編集委員会 (2018. 12. 11. 図書出版チェックサラン)
 - 1) 第58集最終校正作業
 - 2) 第58集印刷依頼
 - 3) 編集委員会今後の日程確認
- ・ 『日本語学研究』第58号 (2018. 12. 20.)



『日本語學研究』論文投稿案内

■ 投稿規定

第1条 (学会誌発刊日程)

	学会誌発刊日	論文投稿締切日
第1回発刊	3月20日	前年12月31日
第2回発刊	6月20日	3月31日
第3回発刊	9月20日	6月30日
第4回発刊	12月20日	9月30日

- ①学会誌は上記の日程で年4回発刊する。
- ②投稿論文は随時受け付け、締め切りは上記のようにする。

第2条 (投稿資格)

- ①原則的に本学会の会員に限る。
- ②会員との共同投稿者及び招請講演者、姉妹学会の会員、編集委員会の推薦による海外からの投稿者は例外とする。
- ③連携協力研究会において発表した論文は、本学会での発表と同一の資格を付与する。

第3条 (投稿対象)

一般会員は本学会の学術発表会での口頭発表の有無と関係なく投稿することができる。

第4条 (論文内容)

日本語学関連の論文として、既存の国内外の学術誌に発表していない独創的な研究論文でなければならず、本学会の研究倫理規定に従わなければならない。

第5条 (掲載限度)

一つの学会誌に掲載することができる論文は一人一編に限る。また、同一人物の単独論文は2回以上連続して掲載しないことを原則とする。

第6条 (分量)

学会で規定した論文作成要領に従い、図及び表を含めて16ページ程度とする。12ページ未満及び20ページ以上の超過は受け付けないことを原則とする。

第7条 (投稿論文受付)

- ①投稿者は本学会の論文作成要領に従って論文を作成し、学会のオンライン投稿システム (<http://j1ak.jams.or.kr>) から提出する。
- ②投稿者は学会のオンライン投稿システムに会員登録する際、必ず本人の身分事項を記載しなければならない。
- ③審査用の論文本文には投稿者と関連する事項を一切記載しない。また、編集委員会の監査が記入の有無を確認する。

第8条 (審査)

投稿された論文は審査規定に則り、オフライン編集委員会の主管で3人以上の審査委員の審査を経て、掲載の可否を決定する。審査委員の選定は投稿論文の専攻研究分野を考慮し、オフライン編集委員会で決定する。但し、3人の審査委員には本学会の審査担当編集委員(査読委員)1人以上が必ず含まれなければならない。

第9条 (審査料及び掲載料)

- ①審査料は1編あたり6万ウォン、掲載料は一般論文の場合は10万ウォン、研究費受託論文の場合は20万ウォンとする。ただし、無発表論文の掲載料は一般論文20万ウォン、研究費受託論文30万ウォンとする。
- ②学会発表論文として認められる期間は発表日から2年以内とする。
- ③最終的な掲載論文の分量が20ページを超過する場合、1ページごとに1万ウォンを追加で負担する。
- ④審査料は論文投稿の締切日まで、掲載料は掲載用の原稿提出締切日までに入金する。

第10条 (校正)

原稿の校正は投稿者が責任を持ち、論文の編集は編集委員会の方針に従う。

第11条 (別刷本)

原稿料を別途で支払うことなく、学会誌に論文が掲載された投稿者には学会誌2部と別刷本20部を贈呈する。但し、海外配送の場合は3万ウォンの費用が発生する。

第12条 (著作権)

受け付けた原稿は返還しない。また、投稿論文が学会誌に掲載された場合、当論文のオンライン及びオフライン著作権は本学会に帰属する。

第13条 (その他)

本規定に明示されていないその他の事項は編集委員会の決定に従う。

<付則>

- ・この投稿規定は、2015年10月30日から改訂・施行される。
- ・この投稿規定は、2015年12月21日から改訂・施行される。
- ・この投稿規定は、2017年09月01日から改訂・施行される。
- ・この投稿規定は、2018年03月21日から改訂・施行される。

『日本語学研究』投稿要領

■ 投稿要領

1. 使用言語

論文は韓国語、日本語または英語で作成する。

2. 使用環境

原稿は $\text{\textcircled{H}}$ を使用して作成することを原則とし、 $\text{\textcircled{H}}$ で入力できない漢字及び記号、図表などは他の紙面で提出する。但し、外国在住などの理由で、 $\text{\textcircled{H}}$ を使用できない場合はMSワードを使用して作成する。

3. フォント

韓国語は「新明朝」、日本語は「新明朝略字」を原則とする。但し、MSワードの場合、韓国語は「明朝」、日本語は「MS明朝」で作成する。

4. 原稿分量

学会で規定した論文作成要領に従って、図及び表を含めて16ページ程度とするが、12ページ未満及び20ページを超過した場合は受け付けないことを原則とする。最終的な掲載論文の分量が20ページを超過する場合、追加掲載料を負担する。

5. 論文内容

次の順序に従い、フォント及び体裁は論文作成要領を参考にする。

① 論文題目

② 著者名:著者名には脚注に所属、職位、細部専攻を記入する。(論文作成例 参照) 2人以上の共同論文の場合、第1著者を先頭に書き、必要な場合、脚注で著者の所属及び細部専攻の後に“(第1著者、交信著者)”と明示する。

③ 要旨:要旨(題目含む)は最初のページと最後のページにそれぞれ作成する。論文の最初のページの要旨は300語程度の英語(必須)で作成し、論文の最後のページの要旨は600字程度の分量で英語を除いた論文の本文と異なる言語で作成する。(例:論文の言語が日本語の場合は韓国語、論文の言語が韓国語の場合は日本語にする)

④ 研究分野:二つの要旨に投稿論文の研究分野を例に示した分野の中から選択し、明示する。

(例:音声学(Phonetics)、音韻論(Phonology)、統辞論(Syntax)、形態論(Morphology)、意味論(Semantics)、語彙論(Lexicology)、語用論(Pragmatics)、社会言語学(Sociolinguistics)、日本語教育、(Japanese Education)、日本語史(Japanese History)、その他の日本語学 (Other Japanese Studies))

⑤ キーワード:二つの要旨に論文の内容を含みうる5つ以内の主題語を要旨と同一の言語で提示する。

⑥ 本文

⑦ 注:本文の内容を補充する必要がある場合、脚注を作成する。

⑧ 用例出典:原則的に用例の出典を明らかにする。

⑨ 参考文献:著者名を基準にして韓国語、日本語、英語の順で作成し、書誌情報は著者名、年度、論文または著書名、論文の場合は掲載誌の巻号、発行機関、ページ数の順で漏れなく記載する。同一の著者の文献である場合、著者名にする。

例) 高橋太郎(1969)「すがたともくろみ」『日本語動詞のアスペクト』麦書房 pp.1-5
김정수(2003)「한일어 조사대조」『일본어학연구』제6집 한국일본어학회 pp.1-5
Rakoff,L.(1973) Language and Women's Place. *Language in Society*, NY: Harper Colophone Books, pp.1-5

6. 図及び表

すべての図は下段中央に、表は上段中央に <図1>、<表1>のように表示し、必ず題目を記入する。

7. インターネット資料

インターネット資料を用例出典及び参考文献として利用した場合、URLの後ろに検索年月日を明示する。(例: <http://www.jlak.or.kr/> (検索日: 2014.3.20.))

8. 外来語表記

ハングル正書法の外来語表記法に従う。

■ 審査料及び、掲載料入金要領

【予稿集発刊費】

■ 入金期限:学術発表の発表要旨の投稿締切日(または発表当日)

■ 金額:10,000ウォン

【審査料】

■ 入金期限:論文投稿締切日

■ 金額:60,000ウォン

【掲載料】

■ 入金期限:掲載用原稿の提出締切日

■ 金額:学会発表論文:一般論文(10万ウォン)、研究費受託論文(20万ウォン)

無発表論文 :一般論文(20万ウォン)、研究費受託論文(30万ウォン)

※但し、最終的な掲載論文の分量が20ページを超過する場合は1ページあたり1万ウォンを追加で負担する。

【入金口座】

■ 口座番号:国民銀行 884201-04-150294 (李吉鎔)

※入金時に送金者の氏名及び送金内容を必ず記載すること(例:山田太郎 審査料)

【審査及び掲載用論文提出先】

本学会オンライン投稿システム(<http://jlak.jams.or.kr>)から提出する。

■ 論文作成要領

論文例示ファイル(ronbunrei.hwp)をダウンロードし、これに作成することを推奨する。

1. 編集用紙の形式は以下の通りである。

■ 種類:使用者定義, 幅170, 縦240

■ 余白:上20, ヘッダー10, 下10, フッター0, 左15, 右15

2. 論文のフォントは韓国語は「新明朝」、日本語は「新明朝略字」を原則とする。但し、MSワードの場合、韓国語は「明朝」、日本語は「MS明朝」で作成する。各部分別のフォントと体裁は次のとおりである。

■論文題目	포인트 16, 太字, 中央寄せ, 行間隔 160
■副題目	포인트 12, 中央寄せ, 行間隔 160
■著者名	포인트 13, 右寄せ, 行間隔 160
■要旨	포인트 9, 両端揃え, 行間隔 160
■論文分野	포인트 9, 左寄せ, 行間隔 160
■キーワード	포인트 9, 左寄せ, 行間隔 160
■大見出し	포인트 13, 太字, 左寄せ, 行間隔 160
■中見出し	포인트 11, 左寄せ, 行間隔 160
■小見出し	포인트 10, 左寄せ, 行間隔 160
■本文	포인트 9.5, 両端揃え, 行間隔 160, 段落 インデント 10pt
■引用文	포인트 9, 両端揃え, 行間隔 160, 段落 左余白 30pt (例文など番号がある場合、段落 アウトデント 12pt追加)
■脚注	포인트 9, 両端揃え, 行間隔 130, 段落 アウトデント 12pt
■参考文献	포인트 9, 両端揃え, 行間隔 160, 段落 アウトデント 55pt

* 学会ホームページの論文作成例示を参考にすること。

学会ホームページのご案内

韓国日本語学会ホームページでは、以下のような多様なサービスをご提供しています。会員の皆様におかれましては、無料オンライン会員加入後にサービスをご利用くださいませう、お願いいたします。

1. 論文投稿
2. 論文審査
3. 『日本語学研究』論文検索およびダウンロード
4. 学術大会関連情報および要旨集ダウンロード
5. その他本学会関連情報

HOME | JAPANESE | ENGLISH | CONTACT US

아이디 비밀번호 로그인
아이디 찾기 / 비밀번호 찾기 회원가입

학회소개



온라인
투고/심사



투고규정



학술지



전망논문



공지사항 more+

- 제39회 춘계국제학술대회 발표자 모집 안내 18-12-27
- 『日本語学研究』 제59집 논문 투고 안내 18-11-21
- 제38회 국제학술대회 프로그램 안내 18-09-02
- 『日本語学研究』 제58집 논문 투고 안내 18-09-02
- 제38회 추계국제학술대회 발표자 모집 안내 18-07-23
- 『제28회 NINJAL 강습회』 사진 공유 18-07-04
- 『日本語学研究』 제57집 논문 투고 안내 18-05-31
- < 国立国語研究所 第28回 N I N J A L 予... 18-04-12

학회일정 more+

2019년 01월						
일	화	수	목	금	토	일
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

관련사이트

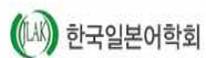
-
-
-
-
-
-

한국일본어학회에서는 연구자의 연구를 존중하고 새로운 지식의 창출을 보호하기 위하여 연구윤리위원회를 두어 운영하고 있습니다. 연구부정행위의 방지와 근절을 위하여 제보를 받고 있습니다.
연구윤리위원회 위원장 전상현 (메일: jun91024@hufs.ac.kr, 전화: 031-330-4675)

学会ホームページURL

<http://www.jlak.or.kr/>

The Japanese Language
Association of Korea



■ 학회사무국	■ 学会事務局
주소: 〒06974 서울시 동작구 흑석로 84 중앙대학교 아시아문화학부 이길용 교수 연구실 H.P : 010 · 8917 · 9469 (사무국장:전자연)	住所: 06974 Seoul市 銅雀区 黒石路 84 中央大学校 アジア文化学部 李吉鎔教授研究室 携帯 : 010 · 8917 · 9469 (事務局長:全紫蓮)
E-mail : jlak123@hanmail.net	Homepage : http://www.jlak.or.kr

ニュースレターでは、会員の皆様の近況およびお知らせを掲載しています。
記事の掲載をご希望の方は、メール(jlak123@hanmail.net)にてご連絡ください。